

毎日を安全に過ごすために こんなとき、あなたはどうしますか？

～普段から気を付けておきたいこと～

年 組 名前 _____

1 知らない人から声をかけられたら…

Q：友達と待ち合わせをしている時に、知らない人に声をかけられました。あなたの名前も知っている人でした。無視をしてもしつこく「遊びに行こう」と誘われました。

① あなたはどのようにして誘いを断りますか？

② それでもしつこく声をかけてきます。どうしたらいいでしょうか？

2 外出するときに…

Q：友達との約束で、外出しようとしたのですが、家には誰もいません。

① 外出する前に、どのような注意点がありますか？

② 家の人にメモで外出を伝えようと思います。どのようなことを書いておくとよいでしょうか？

3 車の中から声をかけられたら…

Q：あなたが一人で歩いていると、知らない人が車の中から「(あなたの) 中学校への道を教えて」と声をかけてきました。見たところ優しそうな人です。「車に乗って一緒に案内してほしい」と言われました。

① まずあなたがとった方がよい行動は何ですか？

② しつこく声をかけてきた場合、どのようにして逃げたらいいと思いますか？

4 外出先からの帰宅が遅くなったら…

Q：帰宅が予定よりも遅くなりました。帰り道、近道をすれば早く帰れますが、暗く人通りの少ない場所があります。

① 危険な場面に遭遇しないためにどのような注意が必要ですか？

5 携帯電話・スマホに連絡が入ったら…

Q：無料通話アプリなどのやりとりで知り合った人の求めに応じて、気軽に自分の顔写真など個人情報を送ってしまいました。その後、その相手から「直接会いませんか？」というメッセージが届きました。

① 顔写真や個人情報を送る危険性とは何でしょうか？

② 「会いませんか？」のメッセージに、何と答えるとよいでしょうか？

もう一度、確かめましょう！

1 被害に遭いそうになったら…

まずはできるだけ早く大人（保護者・先生・警察）へ知らせましょう。たとえ今日は被害に遭わなかったとしても、別の日に同じような手口で被害に遭ってしまうこともあります。

2 名前を呼ばれても…

自分の名前や、家のことを知っていても、知らない人であれば注意が必要です。事前にあなたの名前や日常の行動を調べているかも知れません。「家の人が緊急で病院に運ばれた。すぐに病院へ行こう。」などと正常な判断ができにくいようなことを言うこともあります。

3 車の中から声をかけられたら…

車からの声かけは、まずその車に近づかないことが重要です。ドアがスライドして開く車では、車内に簡単に引き込まれる危険もあります。歩道のない道を歩く場合は、特に注意が必要です。

4 暗くなってから一人になったら…

友達と遊んだ帰りでも、家の近くではほとんどの人が一人になります。不審者はその瞬間を狙っています。近道だからと言って、暗く人通りの少ない道を選ばず、たとえ遠回りでも、明るく人通りのある道を通りましょう。また、家の人に伝えていた時間より遅くなってしまった場合は、「今、〇〇にいる」「あと、〇分くらいで帰る」など連絡を入れておくことも大切です。

5 携帯電話・スマホに連絡が入ったら…

SNS 等を通しての被害は相変わらず起こっています。携帯電話やスマートフォンは、大変便利な反面、使い方によっては、大変危険なことがあることがあります。一度流れた情報は、完全に消すのはとても難しいことですので、個人を特定できるような情報は、求められても絶対に送信してはいけません。

6 こども 110 番 青少年を守る店・守る家の場所を知っていますか？

校区内にある、「こども 110 番 青少年を守る店・守る家」について、場所を確認しておきましょう。

《声かけ事案例 ①》

文化祭の準備が遅くまでかかり、少し暗くなりかけていました。解散後も、文化祭の企画のことをいろいろ話していたため、気がつけばすっかり辺りは暗くなっていました。私は友人 3 人で一緒に登下校をしています。3 人の中で、私の家は学校から一番遠いので、友達と別れた後はいつも一人になります。

「しゃべりすぎてしまったな…」そう思いながら、少し早足に歩いていると、後ろから原付バイクが近づいてきました。細い道なので、道の端によけようとしたら、原付は止まって「〇〇中学校の生徒さん？」と話しかけてきました。思わず、「はい」と答え、「〇〇さんの家知ってる？」と、私の友達の名前を言ってきました。とっさに「知りません」と答え、走り出しましたが、原付でしつこくついてきて「ねえねえ」と話しかけてきます。

《声かけ事案例 ②》

駅前前で友達と待ち合わせをしていた僕に、突然車から降りてきた男の人が「すみません、実は一緒にいる友人が、突然おなかが痛いと言い出して苦しんでいるので、近くの病院を教えてください」と声をかけてきました。「わかりません…」そう言って相手にせずにいると、男の人は僕の前に立ち、「この辺りのことよく知らないから、一緒に探してよ」といい、車のほうに背中を押してきました。あわてて逃げようとする、「早く助けてあげたいから、力を貸して」と、男の人が僕の腕をつかみ、車に連れ込もうとしました。

学習のまとめ

(月 日)